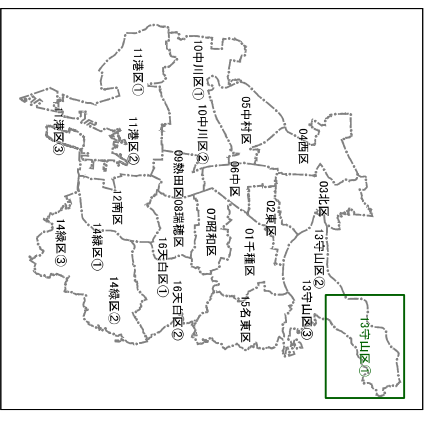


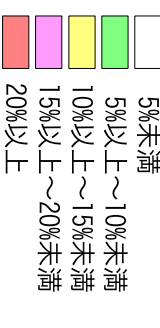
建物倒壊の危険性

【市被害想定(あらゆる可能性を考慮した最大クラス)をもとに評価】

13守山区①



建物全壊率



図面の見方

- ・建物構造及び建築年と、被害想定(あらゆる可能性を考慮した最大クラス)において地盤状況を考慮して計算された震度、液状化可能性により、建物が全壊する割合を街区ごとに評価したものです。
- ・**全壊率が大きい(赤い色)ほど、建物倒壊の危険性が高くなります。**
- ・建物全壊率は街区ごとの平均値であり、街区内の全ての建物が同じ危険性を有しているわけではありません。
- ・色がない街区(建物全壊率5%未満)においても建物が倒壊する可能性はあります。

評価条件等

- 市被害想定(あらゆる可能性を考慮した最大クラス)における震度及び液状化可能性をもとに評価
- 建物構造、築年次、震度に基づく街区ごとの建物全壊率(液状化被害率を考慮)
- 液状化被害率は、液状化可能性指数(P_L値)による液状化面積割合、構造別サポートの有無、液状化被害を受ける割合により算定
- 建物データ：平成23年度建物用途別現況調査

